

学校図書館支援センター通信 NO.72

12月号

平成25年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）



プロフェッショナルから学ぶ本の世界！

様々な分野で活躍されているプロフェッショナルの方々をお招きして、読書イベントを行う学校が増えています。子どもたちは、自分で本を読むだけでは味わえない新たな本の世界に触れ、多くのことを学び豊かな心を育てています。その一部をご紹介します。

11月19日 真間小学校

読書週間 語りの会 『熊澤 南水 さん』

真間小学校では読書週間に、熊澤 南水さん（ひとり語り）をお招きして語りの会が開かれました。熊澤さんのひとり語りは、文学作品をわずかな身振り手振りや表情の変化を駆使して、原作に忠実に伝える舞台芸術です。

前半の部では、低学年を中心に「花さき山」「いのちをいただく」後半の部では高学年に「蜘蛛の糸」「いのちをいただく」を語っていただきました。

語りが始まった瞬間に、会場中がお話の世界に引き込まれていきました。熊澤さんの語る言葉の一つ一つが、まるで生きているかのように子どもたちの心の中にしみわたり、目の前に物語の場面が浮かんでくるようなひと時でした。



「いのちをいただく」では、自分たちが動植物の命をいただいて生きていることを語りを通して子どもたちに伝え、今日から「いただきます」の意味を考えながら食べ物を大切にいただいていたほしいとおっしゃいました。

最後に、子どもたちに「本を読むことで無限の体験や自分磨きをして、心にたくさんの栄養を蓄えて欲しいです」と力強く語っていただきました。



11月21日 妙典小学校

読書講演会 『浜田 桂子 さん』

妙典小学校では、絵本作家の浜田桂子さんをお招きして「人と人のつながり、人間っていいな」をテーマとした読書講演会が行われました。

子どもたちの合唱「語りあおう」に迎えられた浜田さんは、子どもの頃、大好きだった本を手にしながらか「本は友だちです。いつでもそばに置いて、さみしい時や上手くいかない時に自分を勇気づけてくれます」と話を始められました。「あやちゃんのうまれたひ」の絵本は、命のバトンが受け継がれて今の自分が生まれたこと、その赤ちゃんの誕生を家族みんなが待ち望んでいたことを伝えたかったのだそうで、優しい語り口調で読み聞かせをされていました。



また「へいわってどんなこと」の絵本は、中国や韓国の作家と共に平和をテーマにしたプロジェクトを立ち上げ、何冊もの見本を作って仕上げたそうです。「平和はやってくるものではなく、私たちが一緒に作っていくものです」と、凜とした語り口で、読み聞かせをされていました。浜田さんの絵本に込められた深い思いが子どもたちに伝わったひとときでした。



図書館の窓から ~ひろげよう・図書館の輪・リレー執筆~

本校では、毎年11月を読書月間としています。今年は、「家族」をテーマにして、いろいろな本を読みました。期間中にはさまざまな取り組みがあります。学年ごとにテーマにそった掲示物を作ったり、お昼の放送で、図書委員が本の読み聞かせをしたり、先生方のおすすめの本を廊下に展示したりしています。

また、今年は給食委員会とも連携して、“おはなし給食”も実施しました。『とんとん とめてくださいな』に出てくるシチューなど3品のメニューが並びました。

そして、最大の取り組みは、読書講演会です。今年度は、こんのひとみさんをお招きして、読み聞かせや歌を披露していただきました。子どもたちにとって大変貴重な素晴らしい時間となりました。これを機会に、より一層、本を身近なものにしてほしいと願っています。

市川市立塩焼小学校 学校図書館員 畠山智子



11月21日 塩焼小学校（研究協力校）

読書講演会 『こんのひとみさん』



塩焼小学校では、絵本作家・シンガーソングライター・ラジオパーソナリティ等多方面で活躍されている、こんのひとみさんをお招きして読書講演会&ミニコンサートが開かれました。震災や命の尊さについて実話をもとに作られた「かあさんのこもりうた」や「くまのこうちょうせんせい」の読み聞かせでは、こんのさんの優しい声と挿絵のぬくもりが重なり合い、会場中が涙と感動に包まれました。「たくさんの心を向けて聞いてくれてありがとう。被災地の子どもたちに全国のお友だちが応援しているよ。みんなは決して一人じゃないよと伝えるね」とおっしゃいました。後半には、こんのさんと子どもたちの大合唱が行われ、子どもたちからはお礼に「夢をかなえよう」の合唱をプレゼントされました。

第2部は保護者向けに、吉川 正夫さんのピアノ伴奏に合わせてミニトークショーが行われました。NHK みんなのうたでお馴染みの「パパとあなたの影ぼうし」に秘められた親として子どもを思う気持ちに、参加者はみな共感し心を打たれました。こんのさんと共に過ごした小春日和の穏やかな一日は、子どもたちだけでなく保護者の心のアルバムにも素敵な思い出の1ページとなったことでしょう。

(※体育館の暗幕をしめて行ったため写真画像が暗くなっています)



【お知らせ】今年度の蔵書点検は、計画的に進んでいます。今年度は図書館管理システムの入れ替え後、初めての蔵書点検となりますので、蔵書点検終了後に受払統計等のデータを必ず前年度と比較して確認してください。前年度のデータとの相違点等が見つかった場合は、教育センターまでご連絡ください。

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4

TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

